

札幌市立新川小学校の5年生 情報通信の楽しさを知ろう！小学校で出前授業 電気の歴史や放送の仕組み学ぶ 無線つながり歓声も

2025年1月28日（火）

1月28日、経理財務部の岡田壮弘副部長と森唯菜アナウンサーが、札幌市立新川小学校の5年生113人に「生活で活躍する電気と電波～情報通信の役割としくみ～」というテーマで出前授業を行いました。去年2月、さっぽろ雪まつりの「雪のHTB広場」で、岡田副部長らがイベントの様子を無線で発信した際、会場を訪れた教師が児童にもこの魅力を伝えたいと考え、無線技術に関する知識が豊富な2人による授業が行われることになりました。

授業では、札幌で電気が使われ始めた時代の話や、テレビ・ラジオ放送の仕組みが紹介されたほか、休み時間にはモールス信号体験が行われました。さらに、アマチュア無線を使って、児童の声がどこまで届くか実験し、札幌市内のほか、苫小牧や三笠など道内各地の無線局と繋がるたびに児童の歓声が上がりました。

岡田副部長は「これを機に、身の回りにある電気や電波に親しみを持ってもらえれば」と話しています。

4 質の高い教育を
みんなに9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

いろんな事を
知るとって
楽しいモン～



発明やアイデア
は豊かさの源
なのです。

